

14

10.18(月)

11:00~配信開始

社会学部
社会学科くつわだ りゅうぞう
轡田 竜蔵 准教授

コロナ禍後の暮らしと社会は どうなる？

— 未来を考える社会学

メッセージ

コロナ禍という歴史的出来事を題材に、社会学的角度から考察するとはどういうことなのかについて示したいと思います。

概要

コロナ禍は経済的に多くの損害を与えた出来事であったと同時に、人々のつながりのあり方にも大きなインパクトを与えました。これまでのように「会うこと」や「集まること」、そして「移動すること」が難しくなるなか、人々は自分自身の暮らしのあり方を見直すようになりました。それは必ずしもネガティブなことばかりではなく、多くの来るべき社会の未来像も議論されるようになっていきます。その一方、社会の分断がこれまでにない形で顕在化していることも、大きな課題になっています。

この講義では、轡田が実施に関わったコロナ禍に関する社会調査のデータを紹介しつつ、多様な立場や価値観の人々の共存をはかるための課題について、考察してみたいと思います。講義をとおして、社会学が未来の社会のあり方の選択肢を考えるうえでとても役立つ学問だということを感じていただければと思います。